相模

発行所
寒川神社社務所
〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話　代表0467(75)0004
編集責任者　水谷智賢
印刷所　㈱さんこうどう

祭事暦

12月１日・20日午前8時30分
月次祭
12月14日　午前8時30分
煤拂祭
12月23日　午前10時
天長祭
12月31日　午後１時
師走大祓式
引続き
除夜祭

平成二十四壬辰年（みずのえたつ）　寒川神社　迎春干支ねぶた

題名「開運（ごうん）　五行の龍（りゅう）」

作：千葉作龍（さくりゅう）（青森ねぶた師）

鎮守の森

早いもので、平成二十三年も残り一ヶ月となりました。神社入口の太鼓橋「神池橋（かみいけばし）」が今月竣功を迎えます。橋・床・玉垣に至るまで全て御影石を使用した相模國一之宮にふさわしい見事な橋です。平成二十四壬辰年（みずのえたつ）の初詣では、この素晴らしい橋を一人でも多くのご崇敬厚い皆様に渡っていただきたいと思います▼今月の二十三日、天皇陛下におかれましては満七十八歳の御誕生日を迎えられます。心からお祝い申し上げます。全国の神社では、天長祭が斎行され、各地で奉祝の行事が行われます。神職は天長祭の前日より参籠（さんろう）・潔斎（けっさい）し、心身ともに清められた状態で祭典を厳粛に斎行します▼本年二月皇居の勤労奉仕に参加させていただき、天皇・皇后両陛下、皇太子殿下のご拝謁（はいえつ）を賜りました。陛下より、近年の神社の状況や農業・漁業の様子をお気になさる温かく有難いお言葉を頂戴致しました。このような陛下のお人柄を直接感じ、感激のあまり涙が止まらなくなりました▼天皇陛下のご公務には、内閣総理大臣の任命式や外国主要人接遇などの国事行為以外に、宮中祭祀があります。これは国家・国民の安泰と五穀豊穣を八百万の神々と歴代の皇霊に祈るもので、皇室ではこのような祭祀を二千年以上続けてきたという、他国にはない伝統と歴史があります。この誇るべき皇室の尊厳護持に努めていくのが神社の役割であると感じます。

（藤岡義久）

遷宮で結ぶ人の輪　心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

新嘗祭斎行

篤志奉納者を表彰

十一月二十三日、勤労感謝の日に役員・総代・氏子崇敬者多数参列のもと、新嘗祭が厳粛に斎行されました。

この祭典は今年の五穀豊穣・産業の振興に感謝申し上げる祭典です。当日は、新穀・白酒・農作物・餅・菓子・花等のお供え物が御神前に所狭しと奉納され、神の恵に誠の感謝を捧げると共に、皇室の御安泰と、崇敬者各位の更なる弥栄が祈念されました。

祭典終了後には参集殿に於いて篤志奉納者の表彰式が行われ、感謝状と記念品が贈呈されました。

篤志奉納者芳名

◈小林　亮殿
◈佐草　吉野殿
◈大野　芳大殿
◈本田　昌子殿
（順不同）

第四十四回 菊花・写真展開催

本年で四十四回目を迎えました菊花・写真展が、十一月十日より二十三日にかけて開催されました。

菊花展の審査長に尾﨑元彦氏、また副審査長に遠藤吉和氏、そして写真展の審査長を伊奈喜久雄氏にお願いし、厳正なる審査の結果、次の方々が入賞され新嘗祭に併せて表彰式が執り行われました。

菊花展入賞者

（敬称略）

寒川神社宮司賞
間管「清見の霞」　杉崎　松勇
神社本庁統理賞
厚物「新太平の銀峰」　三橋　太一

厚物の部

金賞　内藤　俊雄
銀賞　三橋　太一
銅賞　岡田　秀麿
寒川町長賞　富永　英雄
横浜銀行茅ヶ崎支店賞　髙屋敷敏継
湘南信用金庫寒川支店賞　酒井　茂夫
三井住友銀行藤沢法人営業部賞　榎田　忍
三昭グループ賞　香西　好松
熊澤酒造賞　小室　久次
ニッポン放送賞　香西　好松
ニッポン放送賞　中野　信義
TBSラジオ賞　土屋　和民
TBSラジオ賞　水島　進
FMヨコハマ賞　鴨志田信子
FMヨコハマ賞　岩本　茂

入選
大賞　久男　二宮　和昭
柳下　愛子　梶　俊一
佐野　多昭　小川　敏幸
岡田　秀麿　佐野　晴子
松野　寛　天利　勇
原　則夫　平野　正夫

厚走の部

金賞　榎田　忍
銀賞　中野　信義
銅賞　岡田　秀麿
寒川町議会議長賞　岩本　茂

太管の部

金賞　天利　勇
銀賞　岩本　茂
銅賞　田辺　弘之
郵便事業㈱寒川支店長賞　横山　仲次
寒川ライオンズクラブ会長賞　富永　英雄
三昭グループ賞　清川　八郎

入選
小峯　貞雄

間管の部

金賞　阿諏訪　豊
銀賞　三野輪芳夫
銅賞　阿諏訪　豊
寒川町観光協会賞　内藤　俊雄
さがみ農協寒川地区賞　須川　光雄
三井住友銀行藤沢法人営業部賞　田中　博司
三昭グループ賞　亀山　邦男
ニッポン放送賞　吉田　茂雄

【菊花展　宮司賞】

TBSラジオ賞　小川　敏幸
FMヨコハマ賞　富永　英雄
入選
原　則夫　柳下　愛子
渡辺　要治　加藤　秀幸
三橋　太一　内藤　秀夫

細管の部

金賞　阿諏訪　豊
銀賞　後藤　勤
銅賞　香西　好松
横浜銀行茅ヶ崎支店賞　水島　進
湘南信用金庫寒川支店賞　杉崎　松勇
熊澤酒造賞　天利　勇
三昭グループ賞　大城　征治
ニッポン放送賞　荒田　洋司
TBSラジオ賞　清田　美躬
FMヨコハマ賞　水島　進
入選
土方　勝守　大出　進
長澤　弘光　小峯　貞雄
唐沢　茂實　藤好　清晴

福助の部

金賞　水島　進

銀賞　荒田　洋司
銅賞　吉田　茂雄
入選
上原　茂雄　小川　敏幸
小室　久次　清田　美躬
富永　英雄　阿諏訪　豊
渡辺　要治　吉田　茂雄

だるまの部

金賞　鴨志田信子
銀賞　阿諏訪　豊
銅賞　三橋　太一
入選
藤好　清晴　広木　千年
小峰　勝子　秋山　美好
清田　美躬　松野　寛
笠間　潔

七本立の部

審査長賞　杉崎　松勇
寒川ライオンズクラブ会長賞　土方　勝守
さがみ農協寒川地区賞　岡田　秀麿
三昭グループ賞　水島　進
入選
小川　敏幸　小峰　勝子

【菊花展　神社本庁統理賞】

菊奉献者

（順不同・敬称略）

増子　菅野　喜和
加藤　仁蔵
杉本　秀幸
田島　喜久修
石原　馬達
亀井　家男
川　弘治
小澤　昌明
柿　高草木　勝利
澤　田中　晴美
冨樫　髙
大野　常俊
前田　晃
山口　勝己
金子　静夫
本橋　あや子
臼井　正
足立　武夫
田辺　弘之
井口　忠
笠間　潔
柴田　精一
小川　敏幸
大出　進
笠原　光洋
八木　敏則
渡邊　邦二
平川　光男
勝田　不久
佐野　昭義
佐野　晴子
田戸　多昭
奥津　一雄
国勝　宣誉
古屋　武
山崎　春夫
杉山　堅豊
福岡　阿諏訪　勇

茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
茅ヶ崎市
横浜市
横浜市
横浜市
横浜市
横浜市
横浜市
大和市
大和市
大和市
大和市
大和市
大和市
綾瀬市
綾瀬市
大磯町
平塚市
厚木市
伊勢原市
伊勢原市
伊勢原市
座間市
座間市
座間市
座間市
座間市
座間市
座間市
藤沢市
藤沢市
寒川町
寒川町
寒川町

永井　佐藤　均
酒井　茂夫　誠一
屋城善二郎

（海老名市）
（海老名市）
（海老名市）

写真展入賞者

（敬称略）

寒川神社宮司賞
「月へ帰ります」
猿渡　政吾

神社本庁統理賞
「熱　演」
柳川　武春

金賞　下里　勝二
銀賞　小林　一
銀賞　堀米　和夫
銅賞　古郡　和敏
銅賞　大木　伊都子
銅賞　杉崎　信行
寒川町長賞　清水　進
茅ヶ崎市長賞　柳　盛康
寒川町議会議長賞　奥野山　洵一
寒川町教育長賞　鈴木　生子
寒川町観光協会賞　遠藤　作次朗
郵便事業㈱寒川支店長賞　坂井　清八
寒川ライオンズクラブ会長賞　松岡　孝治
寒川ライオンズクラブ会長賞　三山　静雄
三昭グループ賞　柿澤　知幸
三昭グループ賞　水野　武
三昭グループ賞　石井　吉雄
三昭グループ賞　東海林　良子
三昭グループ賞　倫枝
三昭グループ賞　伊藤　道郎
田中写真賞　和田　聖記
田中写真賞　岡田　義三
田中写真賞　蛭田　俊雄
横浜銀行寒川支店賞　大貫　毅
横浜銀行寒川支店賞　田中　秀昭
ニッポン放送賞　奥野山　アキ
ニッポン放送賞　髙橋　由美子
TBSラジオ賞　吉田　勝昌
FMヨコハマ賞　横田　美彦

井上　幸尾
池田　哲男
鴨志田　信子
髙津　有二

（海老名市）
（海老名市）
（海老名市）

明治祭斎行

現在は国民の祝日〝文化の日〟として親しまれている十一月三日は、近代日本の建国発展にご尽力なされ今日の礎を築かれた明治天皇の御生誕の日であります。

この日、その聖徳大業を仰ぎ、後世にまで伝え、皇室の弥栄と国家国民の繁栄を祈念する「明治祭」が厳粛に斎行されました。

納札殿上棟祭執行

現在、寒川神社では皆様にお頒けしている御神札や御守りを返納頂く納札殿を建築しておりますが、工事も順調に進捗し、去る十一月十五日には上棟祭が厳粛に斎行されました。

当日は午後四時祭典を執行。上棟の儀の中で工匠長が振幣役を務め、「千歳棟（せんざいとう）」「万歳棟（まんざいとう）」「永永棟（えいえいとう）」と声を高らかに幣を振ると、工匠務める槌打役はその度に「オー」と応え、力強く棟木を打ち固めるとその槌音は粛然とした祭場に響き渡りました。

神宮大麻暦頒布始まる

神奈川県神社庁相模湘南支部の神宮大麻暦頒布始奉告祭が、十一月十四日に当神社にて執行されました。

神宮大麻とは、日本民族の大親神様である天照大御神のおふだのことです。新年を迎えるにあたり、神棚にはこの神宮大麻と氏神様のおふだを新たにお祀りし、災禍ない一年を過ごせるように祈念することが古くからの私たちの習慣です。

年末のうちに新しいおふだをお祀りし、清々しい新年をお迎え下さい。

今月の祭事

煤拂祭

十二月十四日　午前八時三十分

新年を迎えるにあたりて、一年間の塵や埃を拂い清める師走恒例の行事が行われます。

御神前にて奉告祭が執行された後、御本殿をはじめ神門・手水舎等すべての建物が拂われます。

天長祭

十二月二十三日　午前十時

天皇陛下の御誕生日をお祝いする天長祭が斎行されます。

当日は役員・総代をはじめ多くの方々が参列し、天皇陛下のご長寿また皇室の弥栄が祈念されます。

師走大祓式並除夜祭

十二月三十一日　午後一時

本年、最後の祭典、師走の大祓式並びに除夜祭が執り行われます。

半年間の罪穢れを人形に託し祓いやる大祓神事が境内外庭にて行われ、ご参列の皆様、また全国より郵送で送られた人形が祓い清められます。

尚、当日午後一時より行われます大祓神事は、どなたでもご参列いただけます。また当日お越しになれない方には、お申し込みのご案内をお送り致しますのでご連絡下さい。

❖豊栄（とよさか）の舞四人舞を神前にて奉奏

寒川神社では毎月一日の月次祭に神楽舞を奉奏しておりますが、この度豊栄の舞四人舞が初めて奉奏されました。

豊栄の舞は、大東亜戦争終結後、未だ混迷の収まらない昭和二十五年、この苦難を乗り越え、神社の護持と祭祀の厳修を計り、全国神社の祭典に於いて神様をお慰めする為、神社本庁に於ける祭祀舞として制定された乙女舞です。

今回の四人舞は、巫女奉職以来長期間に亘り練習を積み重ねての奉奏となりました。

❖教養研修会開催

神奈川県神社庁相模湘南支部

相模湘南支部主催の神職教養研修会が、國學院大學教授、中西正幸先生を講師としてお招きし開催されました。

先生には江戸時代御師による御祓大麻と明治以降頒布されている神宮大麻の意味・意義、神宮大麻頒布の活動が遷宮継承の礎として、必要不可欠である等、詳細にご講義頂きました。

❖中学生職場体験学習受入れ

十一月九日と十六日の両日、近隣の旭ヶ丘中学校・鶴嶺中学校の職場体験学習を受入れました。

生徒達は、神社の歴史・神道の精神を学んだ他、祭典装束の見学や試着を体験し、普段聞き慣れない用語や見慣れない服装に興味津々の様子でした。

神前結婚式ご案内会

平成24年 1月 22日(日)　10:00～16:00

◆10：00～　衣裳・美容体験
◆11：00～　挙式セミナー
◆11：20～　新春セレモニー
◆11：45～　奉告の儀
《記念写真プレゼント》
◆13：00～　模擬挙式
・各種相談コーナー　(随時)
・カラーコーディネート　(随時)
・人力車試乗体験　(随時)

成人式 着物 着付 他予約承り
平成25年度成人式衣裳展示会
1月20日・21日・22日

忘年会・同窓会宴席予約承り中
同窓会プラン（花束無料贈呈）（室料サービス）
忘年会プラン（室料サービス）

40th 寒川神社 参集殿
40周年謝恩企画
その1 海外謝恩旅行
第2回目の行先は『ハワイ』フリータイム
最終日は謝恩ディナーパーティー
その2 会食券プレゼント
“1万円又は5千円券”を抽選でプレゼント！
その3 お部屋料金半額
宴席(食事)ご利用の方に限り部屋料を半額サービスさせて頂きます

レストラン青葉　予約制
『90分中華料理食べ放題』
12／15(木)～12／18(日)
午後5時～午後8時まで
大人 2.520円　小人 1.260円（税込）

寒川神社参集殿　ご予約・お問い合わせは 0467-75-5555

今年の主な出来事

東北地方太平洋沖地震発生
―被災地を視察する―

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方に甚大な被害をもたらせました。

当地域も震度五強の強い揺れに襲われましたが、幸いにも寒川神社に大きな被害はありませんでした。

東北地方には当神社旧職員が奉仕する神社が複数あり、被害状況を把握する視察が六月と十月に実施されました。

今後も当神社では、被災地の早期復興を祈念し、義捐金募金等支援を続ける所存ですので、ご参拝の皆様には、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各祭典にて早期復興を祈願

▶早期復興を期したパレード

●浜降祭

七月十八日（海の日）に斎行された浜降祭では、帰路御旅所にて御旅所祭に併せて復興祈願祭を執行しました。神輿の前にて浪速神楽「四方拝」を奉奏し、早期復興の御神威が籠められた〝鈴の音〟が遠く被災地に響き渡るよう真心をこめて舞われました。

また、寒川町・寒川町商工会・寒川町観光協会の皆様からご賛同・ご協力を頂き、横断幕を掲げて民謡パレードを行い、寒川町をあげて「元気」を被災地に届けられるよう祈願致しました。

▲“元気”を届けようと民謡パレードも行われました

●相模薪能

八月十五日（終戦記念日）に行われた「相模薪能」では、護国の英霊への慰霊に併せ、今回の地震にて犠牲になられた多くの方々のご冥福と被災地の早期復興を祈願致しました。

全員で黙祷を捧げた後、浪速神楽〝鈴扇の舞〟を奉奏、〝とどけ鈴の音〟〝ガンバレ！東北〟と記された応援メッセージが会場に掲げられました。

また、被災神社を直接支援するため団扇を作製、観賞された皆様にお気持ちにてお頒けし、全額を被害の著しい金華山黄金山神社へお届け致しました。

▲浪速神楽“鈴扇の舞”奉奏

●例祭

九月二十日に斎行された例祭では、神門に〝東日本大震災早期復興〟の提灯を掲灯し、社務所二階の勾欄と太鼓橋前には、応援メッセージが掲げられました。

また、復興を祈願する神輿が境内を力強く錬り歩きました。

▲太鼓橋にも応援メッセージを掲げました

▲復興祈願の提灯が掲げられた神門

向拝大注連縄掛け替え

六月十六日、三年ぶりに御本殿向拝前の大注連縄が掛け替えられました。

この注連縄は長さ十四・五メートル、重さは約一トンあり、寒川神社職工奉仕会の会員である㈱金子建材土木に依頼し、約一ヶ月をかけて奉製されたものです。当日は注連縄をお祓いした後、二十人程の人手により担ぎ上げられ、一日がかりで掛け替えられました。

被災神社を直接支援

宮城県石巻沖に鎮座する金華山黄金山神社は、今回の震災により地盤沈下が発生し、港が使用不能となり唯一の参拝手段である船が接岸出来なくなりました。更に台風十五号で参道にも被害を受け復興の目処も立たない状況です。

当神社では、被害状態を写したパネルと募金箱を祈祷申込所と本殿に設置し、支援を参拝者の方々にお願い致しました。

正月も実施致しますので皆様方の心温まるご支援をお願い申し上げます。

太鼓橋改築
―新名称は「神池橋（かみいけばし）」に決定―

老朽化に伴い改築する事となった太鼓橋は、去る二月十日に地鎮祭が執り行われ、順調に工事が進められております。

また、広く皆様に新名称を募集したところ、多数の応募を頂戴し、委員会にて協議した結果、新名称を神池橋と決定致しました。

工事も最終段階に入っており、十二月十九日には竣功の予定です。

▲太鼓橋周辺完成予想図

寒川神社　神輿修復奉賛会設立

現在の寒川神社の神輿は昭和五十年宮山氏子各位のご浄財により、荘厳優美に再建、奉納されましたが、三十五年が経過し、損みも著しく大修理が必要な時期となりました。

これを受け、神輿修復奉賛会が設立され、ご浄財を募り修理を進める運びとなりました。

現在、神輿は奉製元の宮本卯之助商店にて修復中であり、来年の浜降祭では装いを新たにした神輿が出輿されます。

寒川神社神道講座第一輯
「伊勢の御遷宮」発行

私たち日本人の心のふるさとである伊勢の神宮では平成二十五年に「第六十二回式年遷宮」が行われます。

式年遷宮は二十年に一度正宮をはじめ神宮の建物や神宝を造りあらため、ご神威の更なる発揚をはかる祭事であります。

当神社では、この伝え続けられている〝遷宮の心・意義〟について、多くの方に深くご理解頂きたく、小冊子「伊勢の御遷宮」を発行致しました。

本冊子をご希望の方はご一報下さいますようご案内申し上げます。

境内整備事業

「太鼓橋改築」工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

【平成二十三年十月奉賛者】（順不同・敬称略）

三十万円	藤沢　賢一	寒川町倉見	
十万円	井上総一郎	寒川町小谷	
三万円	㈱豊榮金属	埼玉県春日部市	
二万円	髙橋由美子	宮城県遠田郡	
〃	㈱フジサワ	寒川町倉見	
一万円	守屋　利樹	宮城県名取市	
〃	平澤　理至	茨城県東茨城郡	
〃	川渕　美香	相模原市南区	
〃	川渕ますゑ	相模原市南区	
〃	川渕　志麻	相模原市南区	
〃	三沢　哲也	東京都板橋区	
〃	宮澤　彰	東京都品川区	
〃	平野　敏夫	千葉県八千代市	
〃	伊藤　康雄	千葉県千葉市	
〃	合津　怜	寒川町岡田	
〃	斎藤　良一	相模原市中央区	
〃	一乗　正彦	東京都中央区	
〃	大塚　陽子	横浜市緑区	
〃	稲垣　成克	横浜市保土ケ谷区	
〃	林　幹雄	東京都練馬区	
一万円	加藤理津子	川崎市川崎区	
〃	野本　文子	横浜市旭区	
〃	野末　博海	横浜市戸塚区	
〃	青木勝四郎	藤沢市宮前	
〃	小原新野右衛門	茨城県鹿嶋市	
〃	天達　絢子	東京都世田谷区	
〃	辻　忠彦	埼玉県深谷市	
〃	金谷裕紀子	横須賀市根岸町	
〃	大野　雅雄	千葉県八千代市	
〃	渋谷善三郎	海老名市国府南	
〃	㈱カナリヤ	寒川町一之宮	
〃	村田祐一郎	東京都江戸川区	
〃	渡部　妙子	東京都品川区	
〃	立川　静栄	寒川町岡田	
〃	石田　元昭	東京都文京区	
〃	川村　壽	東京都板橋区	
〃	深瀬　正美	寒川町小谷	
〃	浦田　勝夫	横浜市南区	
〃	千葉　紀元	大和市福田	
〃	和田由利子	相模原市南区	

❖神池橋いよいよ竣功へ

二月より進められている太鼓橋改築工事は、周辺整備事業も含め順調に進捗し、今月十九日には目出度く竣功を迎えます。

当日は午前十時より竣功祭、引き続き渡り初め式が執り行われます。

初詣にご参拝の皆様には、装い新たなる神池橋を渡り、清々しい心でお参り頂けることと存じ上げます。

神嶽山神苑 ❖紅葉を愛でつつ神楽を奉奏

十一月二十日(日)・二十三日(祝日)・二十七日(日)の三日間、苑内石舞台において神楽舞並びに雅楽を特別に奉奏しました。

訪れた参拝者は、茶屋和楽亭や下池のベンチより観賞され、紅葉を愛でながら和やかな秋のひと時をお過ごしいただきました。

神苑は十二月十一日(日)まで延長して開苑します

❖青少年活動だより

寒川神社少年館

―各講座で館生大活躍―

◈俳　句

俳句講座では、講座で作った作品を毎週土曜日発行の読売新聞夕刊「KODOMO俳句」に毎月応募しております。

今回、当館三年生の句が選ばれ、去る十一月五日の夕刊に掲載されました。

七夕のかざりが
竹で音たてる

今回で二回目の入選となり、今後も俳句を通じて子供達の感性を引き出し、表現することの楽しさを知ってもらい、ことばの教育となればと思っております。

◈吟　道

去る十一月六日、茅ヶ崎吟詠コンクール決戦に於いて、予選を勝ち抜いた五名の館生が出場し、合吟と独吟を披露しました。合吟では賞に届きませんでしたが、独吟の部では、見事優勝と三位、四位に入賞いたしました。

日頃の先生の指導による練習の成果を、大舞台の上で発表し入賞できたことは、大きな自信にもつながり今後が楽しみでもあります。

また、これに先立ち十七名の館生による合吟の模範披露も行われました。

◈剣　道

寒川町武道フェスティバルが十一月十三日開催され、剣道の部において十三名の館生が出場致しました。

試合は学年別トーナメント方式で行われ、優勝一名、準優勝三名、三位一名、敢闘賞二名と優秀な成績を収めました。

他の道場に比べ少ない稽古時間の中で、いつも先生が指導している「人の話をよく聞く」の言葉通りその教えを守り、それぞれが力を充分に発揮できたことが、良い結果につながったことと思われます。今後の精進に期待してます。

頑張った館生おめでとう！

BS寒川第二団

―ボーイ隊・ベンチャー隊上進式―

十一月五日午後八時より、ボーイ隊・ベンチャー隊合同の上進式を実施しました。カブ隊からは八名がボーイ隊へ、ボーイ隊からは二名がベンチャー隊へと上進することになりました。それぞれの登竜門となる「三つのちかい」、「敬神生活の綱領」の奏上を見事に果たし新たに隊員の仲間入りをしました。上進式に続き、篤い信仰と敬神活動の実践に対して与えられる神道章の授与も行われました。

今後各スカウトの更なる活躍が期待されます。

ボーイ隊三つのちかい

一、神と国とに誠を尽くし、おきてを守ります

一、いつも他の人々を助けます

一、体を強くし心を健やかに、徳を養います

健康手帳 429

頭痛について

宗教法人 寒川神社 寒川病院
副病院長　栗田　啓司

医療機関には頭痛を訴える方がしばしば来院されます。日本にはおおよそ3000万人程度の頭痛の患者さんがおられるのではないかと言われています。単純にその割合で計算しますと、寒川町には1万5千人程度の頭痛の方がいらっしゃることになります。

頭痛は、字の通り「頭」が「痛く」なることで、いろいろな病気の症状として現われますが、その原因の多くは痛みを生じている頭にあります。頭では、血管、筋肉、脳のまわりの膜に痛みを伝える神経があり、何らかの原因でそれらが損傷されたり、伸ばされたりして頭痛が生じます。一方、脳には痛みを伝える神経はなく、脳の損傷のみでは頭痛は生じません。しかし脳が損傷されると、周囲の膜や脳の中の血管が損傷されたり伸展されたりする結果、脳の病変の多くで頭痛が生じます。

頭痛の原因となる病気は二つに分けられます。一つは、さまざまな検査で異常が見つからず、しかも命にかかわることはない頭痛です。このような頭痛は多くが慢性の経過をたどります。こういった頭痛の代表的なものが緊張型頭痛と呼ばれる頭痛と片頭痛と呼ばれる頭痛です。これらは頭痛の多くを占めます。緊張型頭痛や片頭痛は、命にかかわるようなことはないのですが、片頭痛では嘔気を伴ったり、仕事や日常生活に支障が生じたりすることがしばしばで、片頭痛で困っている方がかなりいらっしゃると推測されています。

頭痛の原因となるもう一つの病気は、深刻な病状となる恐れのあるものです。さきほどの緊張型頭痛や片頭痛に比べると、こちらはずっと少ないのですが、命にかかわる恐れがありますので十分な注意が必要です。この頭痛の代表としては、くも膜下出血、脳出血、脳腫瘍、髄膜炎などがあります。これらの病気にみられる頭痛の特徴は、(1)いままで経験したことのないような激しい痛み（くも膜下出血であれば、「金槌で殴られたような激しい痛み」）、(2)急速に悪化する痛み、(3)頭痛以外の症状がある（ふらつく、ものが二つに見える、高熱があるなど）といったものです。

頭痛の多くは深刻な病気の症状ではないのですが、先ほど述べましたような特徴の頭痛の場合には重大な病気の症状として頭痛が生じている恐れがありますので、すぐに医療機関に受診するなどして対応していただく必要があります。

人事

◆退職
＜神恵苑＞
介護福祉士　久保田さやか
願いに依り職を免ずる
平成二十三年十月二十八日

管理栄養士　石井麻由美
規則に依り定年退職とする
平成二十三年十一月三十日

◆新採用
＜神恵苑＞
介護福祉士　大塚　雪絵
神恵苑勤務を命ずる
平成二十三年十二月一日

第三十三回自衛消防隊 消火技術大会出場

十月二十四日、第三十三回自衛消防隊消火技術大会が開催され、当神社より十名の職員が参加、消火技術を競いました。隊員達は練習の成果を充分に発揮し、女子は屋内消火栓操法にて準優勝に入賞、二名が個人賞に輝きました。男子は小型ポンプ操法に出場、惜しくも入賞は逃がしましたが、安定した操法を披露する事が出来ました。

医療講演会のご案内

と　き　12月20日(火)
午後2時～3時

ところ　寒川神社 参集殿

内　容　「食道の病気」

講　師　消化器科医長
原　正

入場無料　申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467－75－6680
寒川病院

冬川俳壇

五才には五才の自負や七五三　松本美智子
選外の鉢ぽつねんと菊花展　飛石　槿花
不意に来る訃報のありて冬隣　根岸　君子
あの人はいつも長居や暮早し　倉谷　節子
足下に山の影来る晩稲刈り　芹沢　徳光
木履（ぼっくり）の鈴の疲れや七五三　金指　月光
掛鏡ティシュで拭ふ冬立つ日　千葉　静香
七五三蝶ネクタイの犬もゐて　菅沼うめの
強がりてみても齢や大根引く　金子　つぢ
擂鉢（すりばち）を膝に抱えてとろろ擂る　菅沼　保幸
七五三小さき両掌（りょうて）打てば鳴る　岡田風呂釜
子蛙のまぎれこみたる落葉かな　四ッ車梢月
口茶してつづく話しや日の短か　相原　白蕗
塩壺の匙のよごれも菊の頃　市本　益子
焼芋の匂いをさせてすれちがう　竹村真砂美
抱きあげて猫の身ぬくし今朝の冬　伊藤　公一
枯野原延命水の甘きかな　露木てる子
川筋の表と裏の枯れ急ぐ　宮入　つる
大根とテニスラケット篭の中　瀧井どん舟
親娘して晴着のショーか七五三　原野　楽天

相模詠草

寝苦しき夜半に目覚めて短歌（うた）の浮かぶ書き留めし後安らぎ眠る　安藤　慧
大文字盆の送り火空を染め夜の箱根に秋風が吹く　川島惠美子
すすきの穂団子と供うしきたりの十五夜の宵虫のすだける　吉田マツ子
打つ走る母校の声援背に受けて高校球児の顔は少年　天利　春枝
亡母言わる短歌は続けよ老いてなお心豊かに暮らすよすがに　岡元　芳子
長渕の別れの歌に男子らはTシャツの衿に涙を拭ふ　堀江　照子
寒川神社につづく由緒の大神塚また十三塚に郷土を思う　宇田川時子
えさほしい三びきの猫顔そろえ甘えるしぐさにニャゴニャゴニャーゴ　土屋トミ子
小筆にて短歌書くことに心足らう壁に飾りてわれの生きがい　三留とく子
店先に笊に小分けされし梅なつかし伯母の漬けし梅なり　浜田　寿子
くぐり抜け命生まれし初孫よ広い世界へ翔る産声　山口　幸子
「風呂上りすること山程あるのよ」と耳に懐かし亡き母の声　山根喜美代
つんと立つ青き稲穂は天を指しか細い白花ちらちら揺るる　亀山　文子
神苑の神嶽山に湧く水の杜の草木に命を満たす　杉本　照世

十二月 手水舎奉掲

明治天皇御製

をしめども　今年はくれぬ　あたらしき
初日のかげに　いざやむかはむ

表紙写真説明

迎春干支ねぶた〝開運五行の龍〟皆様の開運を祈ります。

編集後記

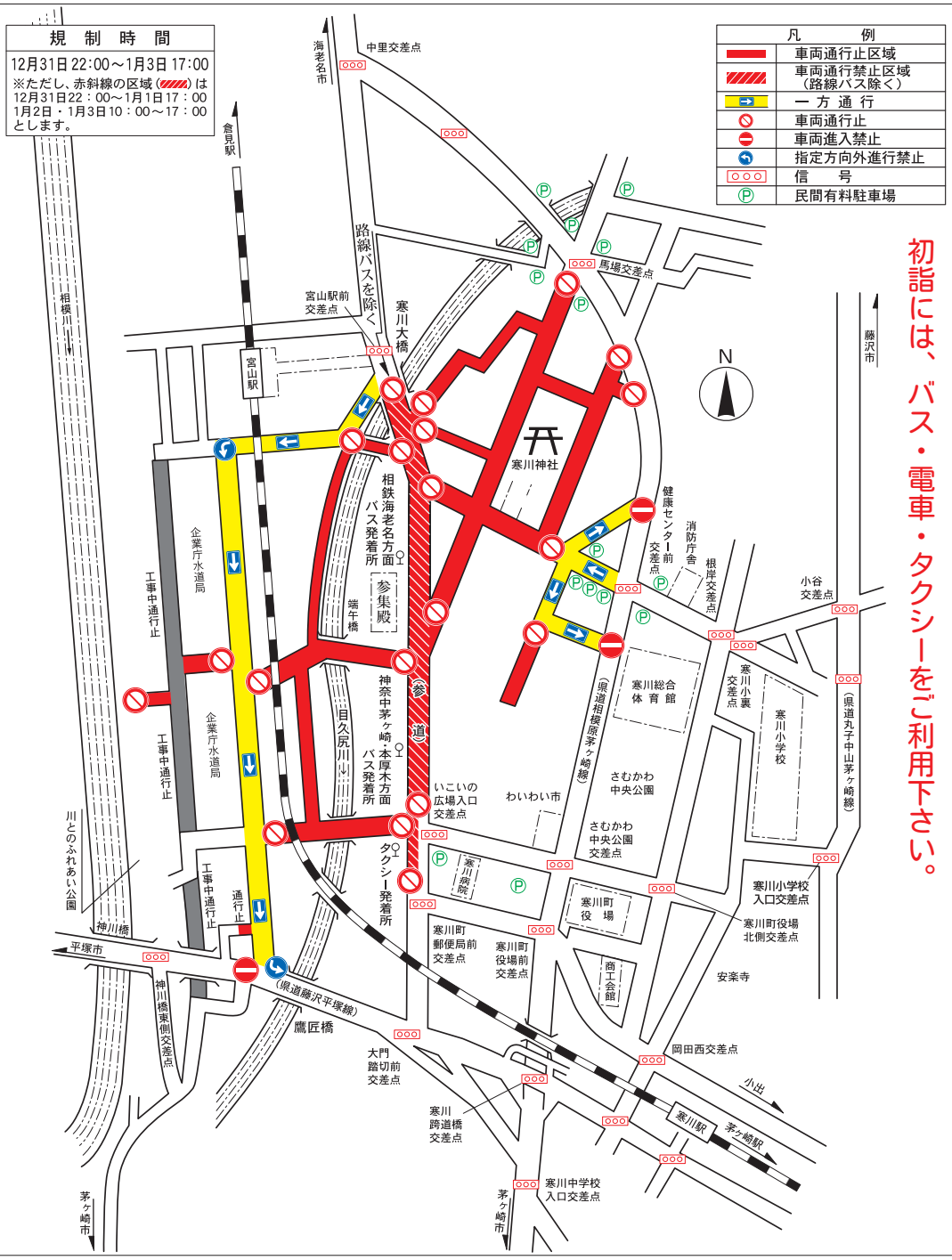
冬至に南瓜・銀杏等〝ん〟の付く食品を食べると幸運になるという言い伝えがある。調べたら栄養価の高い物が多く、冬を乗り切る為の知恵が籠められています。（宜）

平成24壬辰（みずのえたつ）年 厄年一覧表

性別	年齢（かぞえ年）	前厄	本厄	後厄
男	25歳	昭和64年生 平成元年生	昭和63年生	昭和62年生
	42歳	昭和47年生	昭和46年生	昭和45年生
	61歳	昭和28年生	昭和27年生	昭和26年生

性別	年齢（かぞえ年）	前厄	本厄	後厄
女	19歳	平成7年生	平成6年生	平成5年生
	33歳	昭和56年生	昭和55年生	昭和54年生
	37歳	昭和52年生	昭和51年生	昭和50年生

平成24年寒川神社初詣交通規制図



初詣には、バス・電車・タクシーをご利用下さい。

●寒川神社付近は道路が混雑します。公共交通機関をご利用下さい。
●規制区域内での自転車通行はご遠慮下さい。